

## 琵琶湖漕艇場再整備事業について

琵琶湖漕艇場は、本県のボート競技およびカヌー競技活動の中心施設として重要な役割を果たしてきた一方、施設開設後47年が経過し、管理棟や艇庫をはじめとする施設の老朽化、コース利用における安全対策などの様々な課題が顕在化している。

このため、利用者の利便性・安全性の向上や競技会場としての機能強化を図るべく、管理棟・艇庫の改築およびコース改修を実施する滋賀県立琵琶湖漕艇場再整備基本計画(以下「基本計画」という。)を平成30年3月に策定した。

### 再整備の主な内容

- 管理棟・艇庫の改築・・・トレーニングルームの新設、艇庫の拡張、バリアフリー化
- コース改修・・・安全性向上のための北上移設、波の影響を低減するための消波装置の設置

### 1 現在の状況

建物改築およびコース改修について競技団体等と協議しながら設計を進めている中で、滋賀県ボート協会から主に下記の意見をいただき、その対応について検討を行ってきた。

#### <滋賀県ボート協会からの主な意見>

項目	主な意見
(1) 宿泊機能	○基本計画において廃止することとされている宿泊機能については、選手強化の観点から、 <u>会議室との兼用により残してほしい。</u>
(2) 工事期間中の施設運営	○艇の出し入れ等も考慮し <u>適切なスペースを確保するとともに、円滑な競技運営に配慮してほしい。</u>
(3) 工事スケジュール	○国体選考会(6月開催)や全国選抜県選考会(10月開催)については、 <u>仮設施設による開催を極力避けてほしい。</u>

## 2 滋賀県ボート協会からの主な意見への対応

前記意見について検討を行った結果、基本計画の一部を変更のうえ、下記のとおり対応することとしたい。

項目	対応
(1) 宿泊機能	<p>○基本計画において宿泊機能は廃止することとしていたが、<u>宿泊室を会議室との兼用により設置する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20名が利用可能な広さを確保する。</li> <li>・宿泊利用時はパーティション等で男女別に部屋を仕切る。</li> <li>・宿泊機能を設ける場合にはワンフロアにトイレや浴室、洗面所を整備する必要があるが、これらは当初から整備を想定していた設備であることから、適切に配置を行うことで対応が可能である。</li> </ul>
(2) 工事期間中の施設運営	<p>○艇の出し入れ等を考慮し、<u>仮設建物や仮設デッキを効率的に配置することにより、適切なスペースを確保する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設建物間のスペースは艇の長さを考慮のうえ適切に確保する。</li> <li>・艇の手入れ等のためのスペースとして仮設デッキを設置する。</li> </ul> <p>○円滑な競技運営のため、<u>他の建物に先行して審判塔を設置する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール地点において大会時に審判業務を実施するための審判塔を、本棟とは別に2020年春までに完成させ、使用できるようにする。</li> </ul>
(3) 工事スケジュール	<p>○国体選考会（6月開催）や全国選抜県選考会（10月開催）への<u>支障が極力少なくなるよう、工事スケジュールを下表のとおり変更し、仮設施設での運営を2回から1回に減じる。</u></p>

### <工事スケジュール>

(当初)



(変更)



琵琶湖漕艇場 建物周辺平面図

※対岸の御殿浜にも仮設建物を1棟設置する。

